

令和 6 年度 第 1 回施設運営協力委員会記録

日 時：令和 6 年 11 月 28 日(木) 10:30～12:00

場 所：ネイパル北見第 1 研修室

出席者：9 委員（欠席 我妻委員）

福田理事、加茂所長、風間社会教育主幹 計 12 名

議事

○令和 6 年度施設運営及び主催事業報告について(第 2 四半期まで)

①利用者状況について

・令和 6 年 4 月～第 2 四半期までの、利用状況の説明。利用者数は、現在増加している、主な要因として、カーリング団体の増加（札幌の施設が工事中の為）、高校の利用（部活や研修）が増えたこと。日帰り利用は主催事業数減のため、前年より落ちている。延べ利用者についても、現在 600 名程の減少。利用料金は、変更 2 年目でプラス 17 万円。

②主催事業状況について（別添報告書添付）

・現在の参加者充足率は管理目標の 90%を下回っており、残り事業でも維持できるよう広報や事業を展開していく。また、今年度から、チラシの配布をやめたことも影響していると分析している。第 2 四半期までの事業報告は別添参照。

③施設管理目標について

・現在の数値から、施設環境の評価が昨年度より 5 %減。夏場の利用者からの冷房に関する意見が多いことが起因していると考えられる。

④アウトリーチ事業について

・ここまで、様々な 12 団体から要望をいただき、色々なテーマで職員を派遣している。また、地域との連携協働についても、積極的にかかわり、施設内外で連携を強めている。

⑤利用者満足度について

・全体的には、高い評価をいただいているが、今日の夏場の暑さ対策が十分でないこともあり、施設建物についての評価が低かった。食事内容は改善したこともあり、概ね好評だった。その他の項目も昨年度より数値は上がった。

【委員からの質問、意見など】

・教員の働き方改革や部活動の地域移行などの影響はあるか？（A 委員）

→特に大きな影響はないが、勤務時間中に宿泊研修の来所打合せ等は今現在もほとんどの学校さんが実施しているところが多い。部活に関しては、合宿等が意外と多く利用しており、影響は少ない感じです。

- ・主催事業のチラシ配布なしの影響や今後について？（**B 委員**）（**C 委員**）他
 →電子媒体での周知を、教育委員会を通しておこなっているが、確実に保護者に届いているかは分からない。充足率を見ると周知不足は否めないと感じてる。ご指摘にとおり、保護者の関心を引き出せる工夫は今後も行っていく。来年度は、ラインビジネスを使った SNS の周知を検討しております。また、委員さんからいただいたアイデア（マチコミなど）も検討していきます。
- ・主催事業の地域別参加者の状況は？地域を絞って配布など？（**D 委員**）
 →各事業とも地域別の参加人数は把握しているが、地域の参加者傾向については、分析しておりませんので、次回から確認したいと思います。現在、約 80% がリピーターで新規は 20% ぐらいです。
- ・夏場の利用者への暑さ対策は（利用者満足度の施設建物が低い現状から）？（**E 委員**）
 →現状では改善するのが非常に難しい。エアコン等の冷房機器を設置したいが、建物にある変圧器容量を変更する必要がある。現状の予算では設置困難。委員の方からの指摘ポイントを精査し、施設内の空気の流れを作り、少しでも快適に過ごせるよう検討していきます。

○情報提供

- ・食堂運営に関して

前回の委員会にて、現在の業者が R6 年 3 月末で撤退する旨の報告と状況を説明したが、現在は直営で実施している。ここまでの状況は、以前よりも高評価をいただいている。原価率は 50% で、職員も確保し営業をしているが収支的には苦しい。

また、食堂運営に関しては他施設も苦勞しているのが現状です。

（福田理事）今後も、人の確保や直営で続けられるかについては議論の余地があるので、道教委にもうたえて、一元的に考えていく必要があると認識しております。

- ・道立青少年教育施設の在り方について、パブリックコメントを募集中。委員の方々も、ぜひ意見をお願いしたい。

- ・オホーツク社会教育主事会と連携で、次年度より網走教育研修センターにおいて、ネイパルでの体験講座実施方向で検討しております。学校教員や市町村の社会教育関係者に野外体験活動をもと知ってもらい、施設の活用を促進してもらえればと考えている。

○事務局より

- ・次回の開催は、3 月を予定している。

以上